

——なるほど。そこから10年ですね。では、
甲能さん、お願ひします。



Profile



甲能 光

1982年埼玉県生まれ。新座片山FC少年団～口クFC～大宮東高～日本体育大学～埼玉SC(現・さいたまSC)。高校時代の2000年、富山国体(少年)出場。07～09年埼玉県国体選抜、07年秋田国体出場。さいたまSCでは08年より主将を務める。

小学生の頃からプロでやりたいという気持ちはありませんでした。そこで、大宮東高の体育大野 僕も入つてすぐに使つてもらつて、いきなり4校リーグ(県高校総体の決勝リーグ)で、増田さん(功作氏・大宮東高校卒、横浜FC他)のマンツーマンにつけと言われて、いきなりどんでもない刺激を受け

——なるほど。そこから10年ですね。では、
甲能さん、お願ひします。

甲能 僕は新座で生まれて、幼稚園の年長からサッカーを始めました。ヨーケンスポーツクラブという体操なども行つて、いるクラブでした。そこから新座片山(サッカー少年団)に入りました。ここでは、勝ちに対する執念を学びましたね(苦笑)。でも、それが今に繋がっていると思いますし、よかつたと思つています。思い出としては、全日本少年大会の県決勝でFC浦和に負けたこと。サッカーは楽しかったですよ。それに怒られた分、仲間同士の团结は深かつたと思います。

——そこからロクFCに進んだんですね。

甲能 ここで浅井さん(重夫氏)からサッカーを学びました。太田康介(浦和東)、中央大。現JFL・町田ゼルビア)と同期で、3年生のとき、全日本クラブでベスト8に入り、それまでのロクFCでは一番強かつた時期だと思います。ここで基礎の大切さを学びました。とにかく基本的なトレーニングが多かったです。

小学生の頃からプロでやりたいという気持ちはありませんでした。そこで、大宮東高の体育大野 僕も入つてすぐに使つてもらつて、いきなり4校リーグで、増田さん(功作氏・大宮東高校卒、横浜FC他)のマンツーマンにつけと言われて、いきなりどんでもない刺激を受けましたね。でも、自分が上手くなりたかった。だから選手権に出たことはうれしかつたけれど、負けた時に次への期待がありましたね。

——そこからロクFCに進んだんですね。
甲能 指定校推薦でした。プロが無理ならば教員に、とは思つていました。当時、東京都リーグでしたが、早稲田に徳永(悠平・FC東京)、矢島(阜郎・川崎)、朝鮮大学校にはテセ(鄭大世・ボーフム)がいて、レベルは高かつたですね。でも、プロから声がかからず…すぐにプロを諦めることができなくて、卒業して1年、サッカー浪人をしました。アマチュアのJFLは考えませんでしたね、とにかくプロだけ。でも、話がないままでしたので、きっぱり選手は諦めて指導者一本に絞ろうと思、教員の道に進みました。

——SCのことはござ存じでしたか?

甲能 太田康介が入っていたので知つていましたが、地域リーグがどうなつてあるかとは、まったく知りませんでした。もし知ついたら、浪人せずに入つていたかもしませんね。

臨時教員に採用されたときには、選手を続けることは考えていましたが、採用されたのが高校時代でした。當時は、まだ、まつたく知りませんでした。もし知つたら、浪人せずに入つていたかもしませんね。

國体では、守屋先生(保氏・西武台高校サッカー部顧問)と坂庭さん(泉氏・財)埼玉県サッカー協会事務局次長、池田先生(義氏・市立浦和高校サッカー部顧問)に指導してもらいましたが、川島(永嗣・リーガルセSK)、黒津(勝・川崎)は別格でしたね。1回戦は自分のゴールで熊本に勝ちましたが、2回戦は静岡に負ってしまいました。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。
大野 欲がないですね。もつとできるのに「こんなものでいいです」。可能性を追い求めていないんですよ。トレセンを見ていても、ギラギラしたものがないですね。熱いものが感じられないというか。

甲能 生徒たちについては、大野さんと一緒に語ります。小さくまとまつて、いるな、という感じがします。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。
大野 当たり障りなくつて感じですね。今年初めて、選手権の県大会に出場しました。1年目には3人しかいなかつた部員が、3年で20人となりがんばるチームになりました。ただ、自分で表現できないんですね。サッカーやりたくて入つてきてくれていますし、

科に進みました。中2の頃からよく試合をさせてもらいましたし、先輩も多かったです。決め手でした。

——そして、日本体育大学に進学されました。

甲能 指定校推薦でした。プロが無理ならば教員に、とは思つっていました。当時、東京都リーグでしたが、早稲田に徳永(悠平・FC東京)、矢島(阜郎・川崎)、朝鮮大学校にはテセ(鄭大世・ボーフム)がいて、レベルは高かつたですね。でも、プロから声がかからず…すぐに

飲み会があるから来ないか」と誘われ、その古市先生(元喜氏・大井高校サッカー部顧問)から「どうする? やるよね?」と言われ、「やります」と答えたんです(笑)。

——指導者一本、というのがあつさり崩れたんですね。

甲能 そうです(笑)。

——さて、お二人の高校時代を振り返つてください。

甲能 僕は、体育ばかりで走り続けていた3年間でした(笑)。ただ、中村監督(崇氏)には1年の春から使つてもらつたんです。まだ、ヒヨロヒヨロの中学生みたいなのに使つてもらつたことはありがたかったです。先輩たちは上手かったです。2つ上に高地さん(糸治・横浜FC)、1つ上にロクFCでも先輩だった関根さん(永吉・愛媛FC)がいました。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。

大野 欲がないですね。もつとできるのに「こんなものでいいです」。可能性を追い求めていないんですよ。トレセンを見ていても、ギラギラしたものがないですね。熱いものが感じられないというか。

甲能 生徒たちについては、大野さんと一緒に語ります。小さくまとまつて、いるな、という感じがします。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。

大野 当たり障りなくつて感じですね。今年初めて、選手権の県大会に出場しました。1年目には3人しかいなかつた部員が、3年で20人となりがんばるチームになりました。ただ、自分で表現できないんですね。サッカーやりたくて入つてきてくれていますし、

ましたね(笑)。磯貝先生(純一氏)はぶれなかつたですね。やることは徹底していました。プロになりたかったので、一人で朝練やつたり、食べるのも節制したり、サッカー第一身自身が上手くなりたかった。だから選手権に出たことはうれしかつたけれど、負けた桐光学園戦の後は悔しさもありましたが、同時に次への期待がありましたね。

——そこで、日本体育大学に進学されました。

甲能 指定校推薦でした。プロが無理ならば教員に、とは思つっていました。当時、東京都リーグでしたが、早稲田に徳永(悠平・FC東京)、矢島(阜郎・川崎)、朝鮮大学校にはテセ(鄭大世・ボーフム)がいて、レベルは高かつたですね。でも、プロから声がかからず…すぐに

飲み会があるから来ないか」と誘われ、その古市先生(元喜氏・大井高校サッカー部顧問)から「どうする? やるよね?」と言わ�れ、「やります」と答えたんです(笑)。

——指導者一本、というのがあつさり崩れたんですね。

甲能 そうです(笑)。

——さて、お二人の高校時代を振り返つてください。

甲能 僕は、体育ばかりで走り続けていた3年間でした(笑)。ただ、中村監督(崇氏)には1年の春から使つてもらつたんです。まだ、ヒヨロヒヨロの中学生みたいなのに使つてもらつたことはありがたかったです。先輩たちは上手かったです。2つ上に高地さん(糸治・横浜FC)、1つ上にロクFCでも先輩だった関根さん(永吉・愛媛FC)がいました。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。

大野 欲がないですね。もつとできるのに「こんなものでいいです」。可能性を追い求めていないんですよ。トレセンを見ていても、ギラギラしたものがないですね。熱いものが感じられないというか。

甲能 生徒たちについては、大野さんと一緒に語ります。小さくまとまつて、いるな、という感じがします。

——そういいう高校時代を経験して、今の高校生をどのようにご覧になつてますか。

大野 当たり障りなくつて感じですね。今年初めて、選手権の県大会に出場しました。1年目には3人しかいなかつた部員が、3年で20人となりがんばるチームになりました。ただ、自分で表現できないんですね。サッカーやりたくて入つてきてくれていますし、